

# 百道

Momochi



46 福岡都市高速道路1号線 室見川橋梁

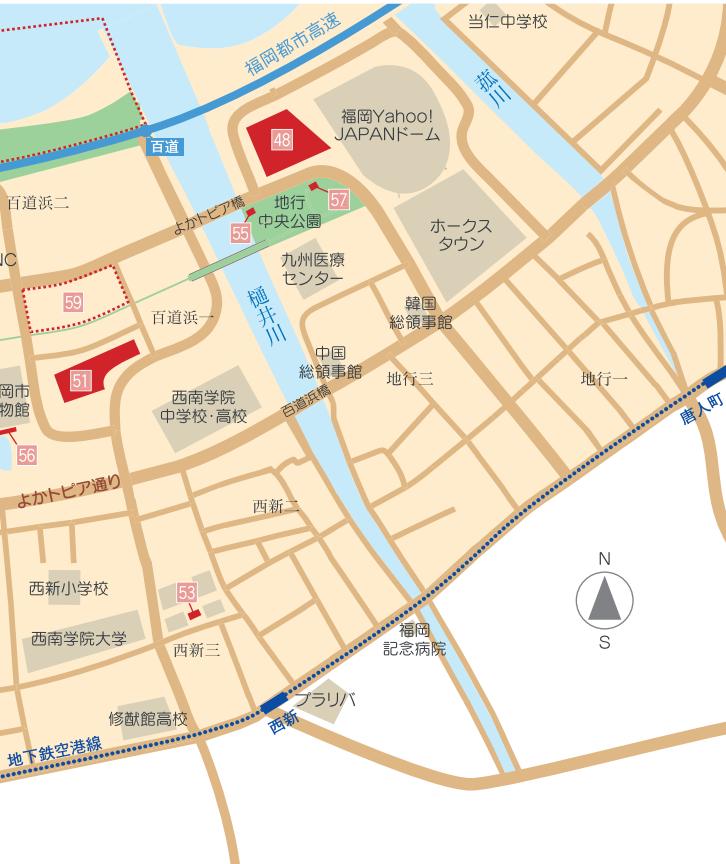
早良区百道浜4丁目～西区愛宕4丁目  
設計／建設技術研究所 他

設計指導／太田利明、竹下輝和、佐藤優 他

土木、建築、芸術工学、地域住民のコラボレーションにより、橋脚、上部構、防音壁の構造的及び視覚的なスリム化を実現し、地域と調和し空と連続するような配色が都会的なイメージを演出している。



20



Momochi Seaside Park

47 シーサイドももち海浜公園 💕

早良区百道浜2丁目

地行浜、百道浜の埋立事業によって新しく作られた人工海浜を中心整備された公園。1989年にはアジア太平洋博覧会(よかトビア)を開催。開幕時には福岡タワー、福岡市博物館、商業施設マリゾンなどが公園整備とともにオープン。人工海浜ではさまざまなイベントが開催され、福岡の人気スポットとなった。

現在では福岡Yahoo!JAPANドームやJALリゾートシーホークホテル福岡、そして企業ビルなどが近隣に立ち並び、ウォーターフロントの景観を形成している。東西に横切る「よかトビア通り」と名付けられている幹線道路が昔の海岸線である。

JAL Resort Sea Hawk Hotel Fukuoka

48 JALリゾートシーホークホテル福岡 💕

設計／シーザー・ペリ＆アソシエイツ建築設計事務所  
中央区地行浜2-2-3

1995年



21



Street of the World's Architects

**49 世界の建築家通り**

企画/水谷顕介、積水ハウス、福岡地所

シーサイドももちにおける1989年のアジア太平洋博覧会(よかトビア)開催に伴って整備された会場周辺街区の一部において、7人の建築家による集合住宅、商業施設を中心とした開発が行われた。足元の石積み、各棟間の処理など建築家達が一堂に会して議論しながら街並みを構築した実験的試みであった。

Seaside Momochi Verde Court  
(Taisei Geotec, Fukuoka Shoji)

**49a シーサイドももちヴェルデコート  
(大成ジオテック・福岡商事)**設計/黒川紀章建築都市設計事務所  
早良区百道浜3-3-1  
1989年

Seaside Momochi Verde Court (Seismic, Zenith Japan)  
**49b シーサイドももちヴェルデコート  
(サイズミック・日本ジニース)**

設計/葉デザイン事務所  
早良区百道浜3-3-1  
1989年

Seaside Momochi Verde Court (Vega)

**49c シーサイドももちヴェルデコート(ベガ)**  
設計/木島安史+YAS都市研究所、計画・環境建築  
早良区百道浜3-3-1  
1989年



Nexus Momochi Bldg. M

**49d ネクサス百道M棟**

設計/マイケル・グレイブス・アーキテクト

早良区百道浜4丁目  
1990年

Nexus Momochi Bldg. S

**49e ネクサス百道S棟**

設計/スタンリー・タイガーマン

早良区百道浜4丁目  
1990年

Seaside Momochi Arti Court Bldg. B

**49f シーサイドももちアルティコートB館**

設計/美川津而+十環・設計工房

早良区百道浜4-1-3  
1989年

Seaside Momochi Arti Court Bldg. A

**49g シーサイドももちアルティコートA館**

設計/出江寛建築事務所

早良区百道浜4-1-4  
1989年

Hyatt Residential Suites Fukuoka

**51 ハイアット・****レジデンシャルスイート・福岡**

設計/三浦紀之建築工房

早良区百道浜1-3-70

1992年



Nexus Momochi Residential Tower

**52 ネクサス百道レジデンシャルタワー**

設計/マイケル・グレイブス・アーキテクト

早良区百道浜4-31-1

1996年



Seinan Gakuin University Museum  
(The Dozier Memorial Hall)

**53 西南学院大学博物館**

(ドージャー記念館)

設計/ウイリアム・メレル・ヴォーリズ

早良区西新3-4

1921年

大正期を挾んで日本で活躍した建築家、W.M.ヴォーリズの煉瓦造り建築の代表作。2004年の高校移転後に福岡市有形文化財に指定された。2006年5月からは、西南学院大学博物館として開館。キリスト教関連の資料などを展示している。

22

23



Water-Land / Kiyoyuki Kikutake

**54 ウォーターランド**

作者／菊竹清文

早良区百道浜3丁目(百道中央公園)

1989年

Grand Oiseau Amoureux / Niki de Saint Phalle

**55 大きな愛の鳥**

作者／ニキ・ド・サンファル

中央区地行浜1丁目(地行中央公園)

1993年

The Liberty, The Victory, The Force,  
The Eloquence / Emile Antoine Bourdelle**56 自由・勝利・力・雄弁(4体)**

作者／エミール・アントワーヌ・ブルデル

早良区百道浜3-1(福岡市博物館前)

1990(1918-1922)年

Tree Spirit / Dhruba Mistry

**57 木の精**

作者／ドゥルーヴァ・ミストリー

中央区地行浜1丁目(地行中央公園)

1993(1990)年

Kohayo / Kyubei Kiyomizu

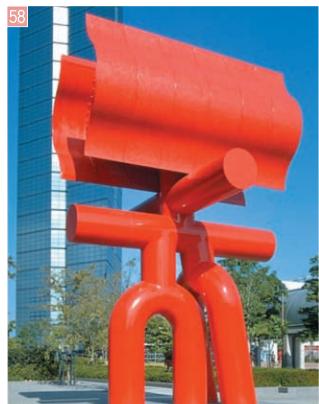
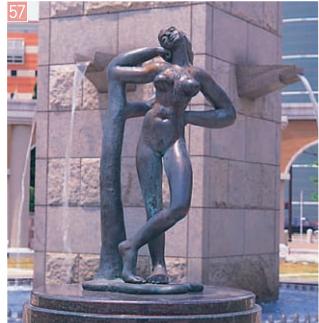
**58 向波容**

作者／清水九兵衛

早良区百道浜2-3-8(RKB本社前)

1996年

清水焼担当として作陶にも携わった彫刻家の作品。明快でユーモラスなフォルムには、作者の量感やスケールを的確につかむ彫刻家としての能力が表れており、近くに寄ったときの圧倒的な存在感が素晴らしい。“向波容”という作品名は波(WAVE)を支える人の姿を表している。作者は2006年7月逝去。



Aero Gallery DUNE

**59 エアロギャラリーDUNE**

早良区百道浜1丁目

1996年

Nostalgia of Circulation / Jae Eun Choi

**59a ノスタルジア・オブ・サーキュレーション**

作者／崔在銀

1996年

Night Scene/ Jean Francois Brun

**59b ナイトシーン**

作者／ジャン・フランソワ・ブラン

1996年

Ultra Find / Noboru Tsubaki

**59d ウルトラ・ファインド**

作者／椿昇

1996年

Poodle / Shin Myeong-eun

**59d プードル**

作者／申明銀

1996年

## 百道を彩る パブリックアート

福岡市内で最もパブリックアートの密度が高いエリアが百道である。ニキ・ド・サンファルの極彩色の神話の鳥、福岡市博物館前に悠然と並ぶブルーデルのモニュメンタルな彫刻群、ドゥルーヴァ・ミストリー・バリー・フラナガンの作品など、散策すると多くの作品に出会える。

エアロギャラリーDUNEは、建物と建物をつなぐペストリアンデッキに作品を配置した例。ジャン・フランソワ・ブランの「ナイトシーン」は夕刻から夜にかけてライトアップされる幻想的な作品。エントランス側では、申明銀のピンクのプードルが人目を引いている。

